



高知の森から バイオマス利用を考える

仁淀川町木質バイオマス利活用事業での
残材出荷実態と出荷者の実収支の分析

鈴木 保志 (高知大学農学部・准教授)

Bスタイル: 地域資源で循環型生活をする定住社会づくり
～「移」「職」「住」の視点から

吉田 貴紘 (森林総合研究所・主任研究員)

2012年6月14日(木)

14:00～16:00

京都大学フィールド科学教育研究センター第一会議室
(農学部総合館北東角2階 N283)

申込み
不要

参加
無料

本セミナーは、当センターの「森里海連環学」にもとづく研究プロジェクト『木文化プロジェクト』によるセミナーです。プロジェクトでは、森林の管理不足が、日本の生態系を荒廃させた原因の一つであると考え、自然科学、人文社会科学の両面からのアプローチにより、森・里・海の自然と人間社会のバランスのとれた「木文化社会」の提案を目指しています。

今回のセミナーでは、高知県仁淀川流域において、地域の木質バイオマスの利用に関する研究に取り組まれているお二人をゲストとしてお招きし、話題提供していただきます。

